日本生命病院あったかサポート通信

Saisei Rimin
済生利民

No.33
2026年2月







Index

特集 耳鼻咽喉科･頭頸部外科……2･3
教えてドクター……4
新任部長･診療科のご紹介 消化器外科……5
脊椎関節炎･リウマチセンター……6
看護のスペシャリスト……7
改善取組のご紹介／ホームページリニューアル……8
患者アンケート……9
病院探検隊……10
開放型病院登録医紹介……11
医療費あと払いサービス 予告／
健康講座のご案内／あったか茶論のご案内……12

公益財団法人 日本生命済生会
日本生命病院

● 地域医療支援病院 ●(公財)日本医療機能評価機構認定病院3rdG:Ver2.0 ● 開放型病院
● 二次救急医療機関(内科) ● 臨床研修指定病院 ● 急性期医療機関 ● 大阪府がん診療拠点病院

特集

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科とは

耳鼻咽喉・頭頸部外科は、耳・鼻・のどに加え、首や顔の一部まで幅広く診療する専門科です。「聴く・話す・食べる・呼吸する」という、日常生活に直結する大切な働きを守る役割を担っています。中耳炎や副鼻腔炎、めまい、アレルギー性鼻炎、鼻出血など、誰もが経験するような疾患から、甲状腺や頭頸部腫瘍の治療まで対象は多岐にわたります。

診断から手術、リハビリまで一貫して行い、患者さんの生活の質（ＱＯＬ）を高めることを目指しています。

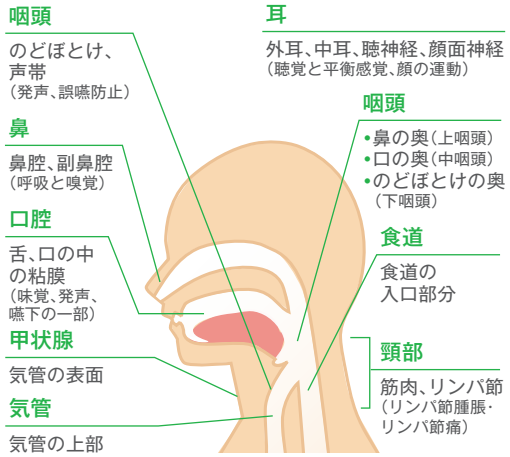


耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長
小泉（こいずみ） 敏三（としぞう）

耳鼻咽喉科・頭頸部外科が扱う主な疾患

診察領域

「脳と眼球を除いた、首から上のすべて」です。



1 鼻疾患

鼻は呼吸の通り道であり、においを感じる器官でもあるため、病気になると生活の快適さに大きく影響します。

■主な症状
鼻づまり、くしゃみや鼻水が続く、顔の痛みや重さ、においが分かりにくいなど

■主な病名
慢性副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症、副鼻腔真菌症、鼻腔腫瘍、アレルギー性鼻炎など

2 耳疾患

耳は「聞く」だけでなく、体のバランスを保つ大切な役割も担っています。そのため、耳の病気は生活の質に大きく影響します。

■主な症状
耳が痛い、聞こえにくい、耳が詰まった感じがする、音が鳴り続ける、ふらつく、耳だれなど

■主な病名
中耳炎、突発性難聴、めまい、メニエール病、顔面神経麻痺など

3 咽喉頭疾患

のど（咽頭）や声を出す器官（喉頭）に関わる病気の総称です。

咽頭は食べ物や空気の通り道であり、喉頭は声を作り、呼吸を守る重要な役割を担っています。

■主な症状
のどの痛み、声のかすれ、飲み込みにくさ、息苦しさなど

■主な病名
咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、声帯ポリープ、反回神経麻痺など

4 頭頸部疾患

首から上の「頭」と「頸（くび）」の部分に生じる病気の総称です。耳・鼻・のどに加え、甲状腺や唾液腺、リンパ節、顔や首の皮膚・粘膜なども含まれます。

■主な症状
首にしこりがある、声がかすれる、飲み込みにくい、腫れや痛みが続くなど

■主な病名
喉頭がん、咽頭がん、口腔がん（舌がん、歯肉がんなど）、甲状腺腫瘍、耳下腺腫瘍、顎下腺腫瘍など



すぐに受診! 耳鼻咽喉科の緊急症状



突然、耳が聞こえなくなった（突発性難聴など）

ある日突然、片方の耳が聞こえなくなったり、耳が詰まった感じがしたりする場合です。

理由 「突発性難聴」の可能性があります。発症から1週間以内（できれば48時間以内）に治療を開始しないと、聴力が戻らなくなるリスクが高まります。

喉が激しく痛み、唾液も飲み込めない

風邪の痛みを通り越し、唾を飲み込むのも辛い、あるいは口が開けにくい状態です。

理由 「扁桃周囲膿瘍」や「急性喉頭蓋炎」の疑いがあります。喉の奥が腫れて窒息する危険があるため、一刻を争います。

鼻血が15分以上止まらない・洗面器一杯分ほど出る

小鼻（鼻の柔らかい部分）をしっかりつまんで下を向いて安静にしても、血が止まらない場合です。

理由 動脈からの出血や、血圧の急上昇、血液の病気が隠れている可能性があります。高齢者の場合は特に注意が必要です。

顔の半分が動かない・口から水がこぼれる

鏡を見たときに顔が曲がっている、目が閉じられない、口笛が吹けないなどの症状です。

理由 「顔面神経麻痺」の可能性があります。帯状疱疹ウイルスなどが原因の場合もあり、早期にステロイド薬などの治療が必要です。

ご存知ですか?

嚥下機能検査

「むせ」や「食べこぼし」が気になる方へ



食事中にむせたり、食べ物が口からこぼれてしまうことはありませんか？ こうした症状は、飲み込みの力（嚥下機能）が低下しているサインかもしれません。嚥下機能を調べることで、誤嚥性肺炎や栄養不足を防ぐことができます。

嚥下造影検査（VF）

バリウム入りの食べ物をX線で撮影し、飲み込みの流れを動画で確認します。飲み込みのどの段階で問題があるかを詳しく調べられる検査です。

嚥下内視鏡検査（VE）

鼻から細い内視鏡を入れて、のどの動きを直接観察します。食べ物が気管に入りそうになっていないか、残っていないかを確認できます。

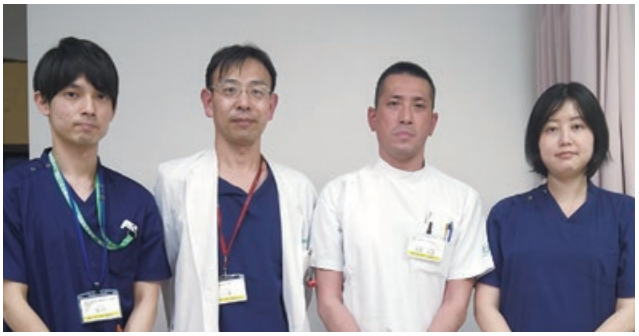
当科での取り組み

中耳炎・難聴・めまいなどの難治性疾患に対して、充実した診断・治療体制を整えています。

- **メニエール病**は、内耳造影MRIによる検査で内リンパ水腫を検出し、より正確な診断につなげています。また、必要に応じて手術治療も行っています。
- **中耳炎**に対しては、体への負担が少ない内視鏡下手術を導入し、早期回復を目指しています。
- **顔面神経麻痺**については、迅速な診断と手術に対応し、機能の回復をサポートしています。リハビリも行っています。
- **頭頸部がん**に関しては、専門医による集学的治療を実施。進行がんの場合には、がん摘出後に形成再建外科医と連携し、再建手術を行うことで、機能と生活の質の維持に努めています。

患者さん一人ひとりに合わせた医療を提供し、安心して治療を受けていただけるよう取り組んでいます。





スタッフ紹介
- 部長 小泉 敏三
- 副部長（部長待遇） 金澤 成典
- 柳田 真希
- 執行 雅之

外来のご案内	月	火	水	木	金
8:30～11:30	●	▲	●	▲	●

※▲は手術日につき初診のみ

教えてドクター ～こんな症状にはどうすればいいですか？～

頭頸部がん



耳鼻咽喉・頭頸部外科
副部長（部長待遇）
かなざわ しげのり
金澤 成典

「父が頭頸部がん（咽頭がん）と診断されました。ほとんど症状もなかったので驚いています」

はじめに

頭頸部がんとは、脳や目を除いた「首から上」にできるがんの総称です。口腔、咽頭、喉頭、鼻・副鼻腔、唾液腺、甲状腺など、さまざまな部位に発生します。全体のがんの中では5％ほどで比較的少ないですが、飲み込みや発声など日常生活に直結する機能に影響を及ぼすため、生活の質に大きな影響を与える病気です。
初期には症状がほとんどなく、症状が出る頃には進行している場合もあるため、早期発見が重要です。

原因

原因・リスク要因としては、喫煙や過度の飲酒が大きな要因とされています。タバコに含まれる発がん物質やアルコール代謝で生じるアセトアルデヒドが関与します。また、ウイルス感染（EBウイルスやHPV）、不衛生な口腔環境もリスクとなります。男性に多い傾向がありますが、甲状腺がんは女性に多いという特徴もあります。

治療

頭頸部がんの治療は、「がんを治すこと」と「機能を残すこと」のバランスを考えて治療法を検討します。頭頸部がんの治療方法は①手術、②放射線治療、③薬物療法（抗がん剤治療）です。また、治療により顔の見た目が変化する場合もありますので、形成再建外科と連携して再建術をすることもあります。
最近では免疫療法や分子標的薬も用いられています。治療後には嚥下や発声のリハビリが必要になることもあります。

●予防のためには禁煙・節酒が基本です。HPVワクチン接種は中咽頭がんの予防に有効とされています。口腔ケアを徹底し、耳鼻科や歯科での定期的なチェックを受けることも大切です。

終わりに

頭頸部がんは初期症状が少なく、診断を受けて驚かれる方が多い病気です。生活習慣やウイルス感染が大きな要因となるため、予防と早期発見が重要です。治療では根治と生活の質の維持の両方を目指します。患者さんやご家族が安心して治療に臨めるよう、医療者とよく相談しながら進めていくことが大切です。

頭頸部がんセルフチェックリスト

口	●口の中（舌など）にしこりがある ●触ると痛い状況が1カ月以上続いている ●頻繁に出血する ●1カ月以上治らない口内炎がある ●あごの下にしこりがある
のど・首	●風邪や声の出し過ぎがないにもかかわらず、1カ月以上声のかすれが続いている ●のどの違和感が1カ月以上続き、すっぱいものや辛いものを食べるとのどにしみる ●痰（たん）に頻繁に血が混じる ●呼吸が苦しい、息がくさい ●首にしこりがある

新任部長・診療科のご紹介

消化器外科

部長（下部消化管）
玉川（たまがわ） 浩司（ひろし）



2025年10月1日付で着任いたしました、玉川浩司と申します。消化器外科の中でも下部消化管（大腸、小腸、肛門）が専門になります。米国での研究生活の後、大阪急性期・総合医療センター、国家公務員共済組合連合会大手前病院の勤務を経て当院にやってまいりました。

消化器外科の仕事の中心は 1 癌の治療と 2 腹部救急疾患になります。

1 がん治療について手術以外で治る癌や手術以外の治療法に頼らざるをえない癌腫が増えてきたのは確かですが、特に消化管の癌はまだまだ切除に頼る部分が大きいと心得ます。ただし高齢化や生活様式の多様化もあり、治療方針決定は一筋縄ではいかないのも事実です。一方で栄養摂取は一生涯続く生命維持活動の一つですので、それにかかわる消化器機能をなんとか維持していかなければなりません。治療手段を提供する私たちとそれを選択する患者様との間でよく相談の上で最善と思われる医療を目指していきましょう。

私自身の専門領域では大腸癌（結腸・直腸癌）になりますが、希少疾患である小腸癌や虫垂癌、神経内物神経腫瘍（NET）に関しても対処してまいります。

2 鼠経ヘルニアや胆石症といった腹部良性疾患は必ずしも手術が必要なわけではありませんが、ある一定の確率で緊急処置が必要となる状況（急性腹症）が生じる可能性があります。腹部救急疾患の代表格としては急性胆嚢炎と虫垂炎でしょう。これら緊急処置が必要な状態に対しては速やかに対処してまいります。

3 比較的身近なもの、潜在的患者数の多いものとしては肛門疾患（痔核、痔瘻、直腸脱）があります。多くは肛門科やクリニックで対処可能なものですが、抗凝固療法が増えたこともあり病院での対処を要する患者様に適切な治療を提供していきたいと思っております。

かつて研修医や大学院生時代にたびたびお世話になった思い出深い日生病院（立売堀）とは名実ともに大きく変わった日本生命病院に入職し、嬉しく思っております。充実した診断／治療機器、手術機器を駆使し、これまでの知見に愛情を加えて治療ゴールを相談させていただければ幸いです。

スタッフ紹介

部長（下部消化管）
玉川（たまがわ） 浩司（ひろし）
担当・専門分野　下部消化管外科

部長（上部消化管）
川田（かわだ） 純司（じゅんじ）
担当・専門分野　上部消化管外科

担当部長（ロボット支援手術担当）
山下（やました） 晋也（しんや）
担当・専門分野　下部消化管外科

副部長
星野（ほしの） 宏光（ひろみつ）
担当・専門分野　肝胆膵外科

医長
江口（えぐち） 聡（さとし）
担当・専門分野　肝胆膵外科

特任副院長
水野（みずの） 均（ひとし）
担当・専門分野
下部消化管外科（結腸、直腸の手術及び化学療法）
腹腔鏡手術（大腸癌、胆石症、鼠径ヘルニア等）

消化器外科受診のご案内

		月	火	水	木	金
午前	8:30~11:30	○	○	○	○	○

脊椎関節炎・リウマチセンター

SpaRC:Spondyloarthritis-Rheumatology Center

私たちは、全身の炎症をチームで診ます



脊椎関節炎・リウマチセンター長
リハビリテーション科部長　整形外科・乾癬センター　辻 成佳

インタビュー　脊椎関節炎・リウマチセンター長に聞く

Q1　脊椎関節炎・リウマチセンターを立ち上げようとしたきっかけを教えてください。

脊椎関節炎と関節リウマチはいずれも、免疫のはたらきの異常によって関節や全身に炎症が生じる疾患です。脊椎関節炎は自己炎症を主体とした免疫異常が中心であり、一方、関節リウマチや膠原病は主に自己免疫の異常が関与する病態であり、発症の背景には違いがあります。
こうした特性の違いから、整形外科は関節や脊椎の痛み・動きにくさといった症状を、免疫内科は全身に及ぶ炎症や免疫の異常を専門に診療してきました。
しかし近年、高齢化の進展に伴い、心血管疾患や糖尿病などの生活習慣病、肺炎をはじめとする感染症、さらに筋力低下（サルコペニア）や虚弱（フレイル）といった全身的な問題への対応が、ますます重要になってきています。その中で患者さんからも、「診療科の枠を超えて一緒に診てほしい」という切実な声を多くいただくようになりました。
そこで、整形外科と免疫内科を中心に、皮膚科やリハビリテーション科などが連携し、包括的な医療を提供できる体制として、脊椎関節炎・リウマチセンターを立ち上げました。当センターの大きな特色の一つが、「乾癬センター」とも密接に協働し、皮膚と関節の両面から診断・治療を強化している点です。
さらに、医師だけでなく、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフなど多職種が垣根を越えて連携し、チーム全体で患者さんを支えています。このような部門横断的な取り組みは、国内でも先進的な挑戦です。私たちはこの体制を通じて患者さんのQOL（生活の質）を高め、お一人おひとりに「ここに来てよかった」と安心していただける医療を目指しています。

Q2　脊椎関節炎・リウマチセンターでは、どのような症例を診てもらえるのですか?

脊椎関節炎・リウマチセンターでは、
- 腰や背中の痛みが3か月以上続く方
- 関節の腫れや痛みがなかなか良くならない方をはじめ、
- 乾癬や掌蹠膿疱症などの皮膚の病気
- 炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎など）
- 眼の病気（ぶどう膜炎）

に関節の症状を伴う方を対象に診療を行っています。
脊椎関節炎、乾癬性関節炎、関節リウマチ、膠原病、掌蹠膿疱症性骨関節炎など、早期の診断と治療が重要な病気を中心に、「どこに相談すればよいかわからない」と感じている症状についても、丁寧にお話をうかがいながら対応しています。



Q3　どのような治療を受けることができますか?

患者さんお一人おひとりの症状を丁寧に診断し、病気の重症度や生活状況、そしてご本人のご希望に寄り添った治療を行います。薬物療法（生物学的製剤など）に加えて、日常生活のアドバイスを組み合わせ、痛みや炎症を抑えるだけでなく、関節や背骨の動きを保つことを大切にしています。また、さまざまな診療科の医師をはじめ、看護師、薬剤師、リハビリ専門スタッフなどが連携し、安心して治療を続けていただけるよう継続的にサポートします。

看護のスペシャリスト

皮膚・排泄ケア認定看護師

岩崎 由希子（いわさき ゆきこ）

おむつトラブルから肌をまもる

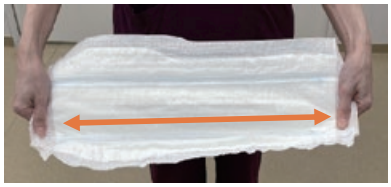
排泄ケアは生活の質に直結する大切なケアです。特におむつを使う場面では、「漏れてしまう」「おしりが赤くて痛そう」などの悩みが付きものですが、その多くは正しい知識とほんの少しのコツで改善できます。今回は、今日から実践できる「漏れない・かぶれない」ためのおむつケアについてお伝えします。

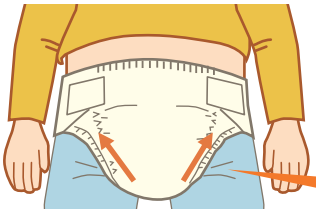


●おむつ選びと当て方のポイント:「サイズ」と「ギャザー」で漏れを防ぐ堤防作り

「大は小を兼ねる」と、大きめのサイズを選んだり、尿パッドを何枚も重ねていませんか？　実はこれ、逆効果です。大きいおむつはずれたり隙間ができやすく、尿パッドは重ねても吸収量は増えません。

適切なサイズ選択と排尿量に見合った吸収機能がある尿パッドの使用が漏れ防止につながります。テープ式おむつは「ヒップサイズ」、パンツ型は「ウエストサイズ」を目安に選びましょう。また、おむつには、尿をせき止める「立体ギャザー」という堤防が備わっています。ここが寝たままだと、隙間から尿が流れてしまいます。





おむつを広げるときは、両端を持って軽く引っ張ります。これだけで自然に立体ギャザーが立ち上がります。当てるときは、ギャザーを足の付け根にしっかりフィットさせましょう。

足の付け根に沿わせるのがコツ!

●スキンケアの基本:洗浄・保湿・保護

①洗浄:こすらずやさしく

おしりを清潔に保とうとして、何度も石鹸で洗ったり、ゴシゴシこすっていませんか?洗いすぎ・拭きすぎは「肌のバリア機能」を壊し、皮膚トラブルの原因となります。洗浄剤を使った洗浄は1日1回までにとどめ、汚れはつまむようにして取り除き、押さえ拭きしましょう。オイル含有のおしりふきや清拭剤を使うと滑りが良く、肌への負担が軽減できます。

②保湿:潤いを与える

乾燥した皮膚は、細胞の構造が崩れるため排泄物や細菌など刺激物が侵入しやすくなります。皮膚をまもるためには保湿剤を塗り、肌に潤いを与えましょう。

③保護:汚れを付かせない

皮膚に水様便や尿といった液状の排泄物が一定時間付着すると、赤みやただれが起こりやすくなります。皮膚はトラブルが起こると治りにくいため、あらかじめ撥水効果のある軟膏（白色ワセリンなど）や保護クリームを塗り、便や尿を直接触れさせない予防ケアが重要です。

もし肌が赤くなったり頻回に漏れるときは、一人で悩まず相談してください。おむつのあて方や日々のスキンケアによって、介護する人もされる人も、毎日の生活がずっと楽になります。

撥水保護クリーム



＼ 院内コンビニで販売中 ／

3Mキャビロンポリマー
コーティングクリーム

3Mジャパン株式会社ホームページより



コラージュフルフル
撥水保護クリーム

持田製薬グループホームページより

改善取組のご紹介

WEBでの診察予約変更申込受付をはじめました

予約変更なら
24時間365日いつでも



お申し込みが可能になります

患者さまが予約を変更しなければならない場面に、電話以外でもご連絡いただけるよう多様化に取り組んで参ります。

詳しくはこちらのQRコードを読み込む



1月13日(火)より、Webにて予約変更申請が可能になりました。予約日を変更されたいときに、Webで申し込むことができます。変更の可否、変更日は後日、係の者からメールでご連絡いたします。

＊予約日の5日前まで変更可能です。＊内容によっては変更ができない場合があります。
＊産婦人科、小児科、神経科・精神科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科は、対象外となります。

ホームページをリニューアルしました!



https://www.nissay-hp.or.jp/index.html

診療科を探す際に、「症状」「医師」「よくある病名」から検索できるようにリニューアルしました!
これからも様々な面で少しずつバージョンアップをし、患者さん・地域の方々のお役に立てる情報を発信していきます。

ご協力ありがとうございました！

2025年度 患者さんアンケート 集計結果のご報告！

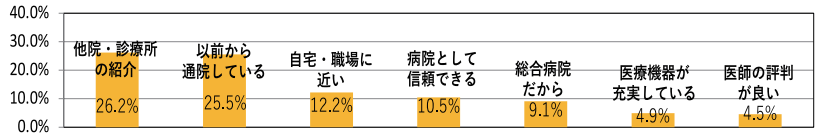
アンケート期間:2025年12月15日～19日

入院患者さん

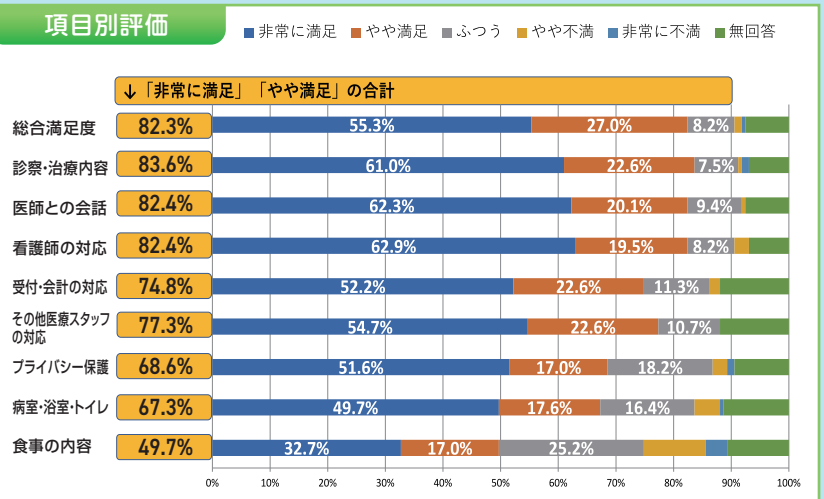
総合満足度（非常に満足・やや満足の合計） 82.3%

回答数=159名
▶男性43.4%、女性54.7%
▶70歳以上50.9%、60代14.5%
50代13.2%、40代7.5%、40歳未満8.8%

当院を選んだ理由



項目別評価



お褒めの言葉

- 設備、対応、医師、スタッフ、事務処理等、いずれも最高クラス。今後の指導や養生方法等、ご指導をよろしくお願いしたいと家族とも思っています。
- 真夜中の急患にも関わらず親切にしてくださり感謝しております。
- 先生方や助産師の方々皆様とても優しく、安心して入院生活を送ることができました。色々とアドバイスいただけることも心強く、もうすぐ退院するのが少し寂しいくらいです。部屋も毎日清掃していただき、快適に過ごせています。このような入院期間にしていただき、日本生命病院でお勤めの皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございます。
- いつもどの診療科に於いても親切丁寧に対応して頂き説明も色々教えて頂き安心し、感謝しています。

ご意見・ご要望

- 気軽に運動ができるスペースを作ってほしい。
- 各階に車いすの貸し出しがあればよい。
- 部屋を出ると、EVホールの場所がわからない。
- 入院中のスケジュールが大まかにでもわかればよい。
- 問診時間に制限があり、説明には満足しているが、もう少し時間があれば、非常に満足に○ができる。

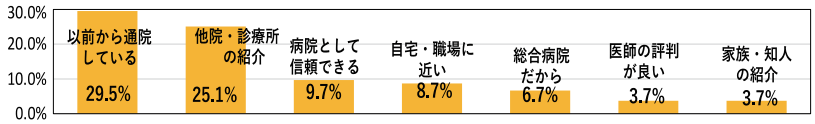
沢山のご意見・ご要望・お褒めの言葉をいただき、ありがとうございました。快適な入院生活をお過ごしいただけるよう、今後とも患者さんに寄り添ったあたたかい医療サービスの提供に努めてまいります。

外来患者さん

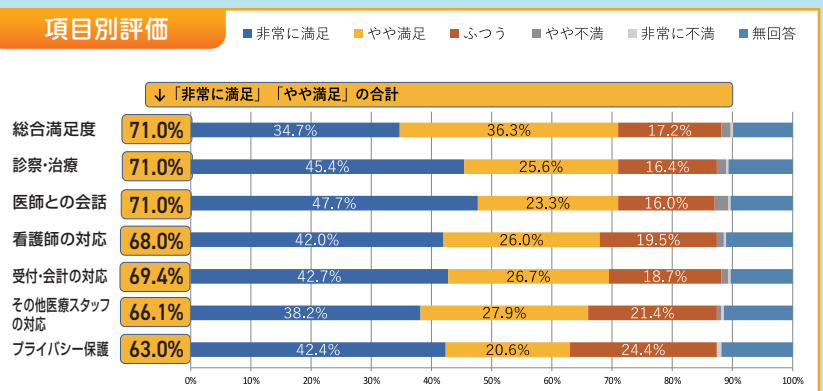
総合満足度（非常に満足・やや満足の合計） 71.0%

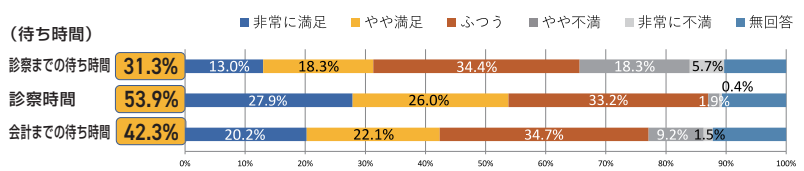
回答数=262名
▶男性40.8%、女性57.3%
▶70歳以上37.0%、60歳代17.9%、
50歳代19.1%、40歳未満23.3%

当院を選んだ理由



項目別評価





お褒めの言葉

- みなさん、いつもお優しい、病院内は明るく清潔で過ごしやすい。とても感謝しています。
- 治験実施病院の為、同様の病気の方へ勧めたい。掃除も行き届いており、気持ちがよい。
- 受付・会計などの対応がとても良い。他病院に比べてスムーズです。待ち時間アプリもありがたい。
- とても良い先生ばかりで本当にありがたいです。スタッフの方も丁寧で満足しています。

ご意見・ご要望

- 案内をわかりやすくしてほしい。初診時に迷いました。
- 暖房がきついです。
- もう少し各診療科の待合が広い方がよい。
- 待ち時間が長いことが多い。

たくさんのお褒めの言葉・ご意見を頂戴し、ありがとうございました。今後も改善活動を継続し、皆様から一層信頼される日本生命病院を目指してまいります。



病院 ～病棟のご紹介～ 探検隊 設備紹介



入院中の快適な毎日のために「写真で巡る、入院環境ガイド」

入院が決まると、どのような部屋で過ごすのか不安に思う方も多いはず。今回は、普段は見ることができない病棟の設備をご紹介します。

病棟入口

当院では、各病棟への出入りにセキュリティカードを使用しています。
外部の方が自由に出入りできない仕組みになっておりますので、安心して療養していただけます。



**無料Wi-Fiを
リニューアルしました**
病棟内、どこでも
つながりやすくなりました!

病室

個室（Aタイプ） ※お部屋のタイプにより料金が異なります。詳細は入院受付まで



ご家族やご友人との面会も、周りに気兼ねなくお過ごしいただけます。
電話やパソコンもお部屋でお使いいただけます。



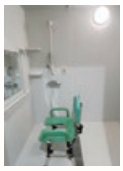
お好きなタイミングで、移動の負担も少なく利用可能です。

総室（4人部屋）

トイレ、シャワー、洗面台は共有スペースをご利用いただきます。



共用のシャワールームは予約制です。バリアフリー設計で、介助が必要な方も安全にご利用いただけます。





デイコーナー

大きな窓からは大阪市内が一望でき、気分転換に最適です。
ご面会、通話等、ご自由にお使いください。









給湯機（お茶・お水・お湯）、自販機、電子レンジ、トースター等設置しております。
ご自由にお使いください。

電話コーナー



個室ブースですので、周囲を気にすることなくゆっくりお話しできます。
ご利用にはテレビカードが必要です。

よくある質問 Q&A



Q 洗濯はできますか?
A 各病棟にコインランドリーを設置しております。洗剤はご準備ください。

Q スマホの充電はできますか?
A できます。充電器は各自お持ちください。

Q パジャマやタオルのレンタルはありますか?
A 当院では入院に必要な病衣、タオル、紙おむつなどの日額定額制のレンタルサービスを導入しております。詳しくは入院受付または病棟にてお訊ねください。

Team Nissay

登録医のご紹介

63 うつぼ公園 ひらやま内科・内視鏡クリニック大阪




院長 平山（ひらやま） 貴視（たかし）先生　副院長 平山（ひらやま） 清花（さやか）先生

標榜科 一般内科、消化器内科、内視鏡内科、膵臓内科

阿波座駅近くに位置する「うつぼ公園ひらやま内科・内視鏡クリニック大阪」は、消化器内視鏡および総合内科の専門医である院長・副院長夫妻が診療を行っています。風邪などの一般内科から生活習慣病の管理まで、地域に根差した「かかりつけ医」として日々尽力されています。
特に注力されているのが、鎮静剤を用いて苦痛を最小限に抑えた胃・大腸カメラ検査です。女性医師による検査も選択可能で、プライバシーに配慮した完全個室の前処置室も完備。また、胃・大腸の同日検査や土曜検査、日帰りポリープ切除にも対応しており、お忙しい方や女性の方も安心して受診できる体制が整っています。
さらに、がん専門病院での経験を活かした「膵臓外来」など、高度な専門医療も提供されています。確かな専門性と温かな対応で、患者さんの不安に寄り添う診療を大切にされています。「お腹の悩み」はもちろん、日々の健康維持における心強いパートナーとして、ぜひご相談ください。


外　観


受　付


検査室

〒550-0003
大阪府大阪市西区京町堀2丁目13-8　岡崎ビル1階
ホームページ：https://www.hirayama-clinic.com
電話：06-6136-5413　休診日：木曜・日曜・祝日
アクセス：アクセス:大阪地下鉄メトロ・中央線/
千日前線「阿波座駅」から徒歩8分



※当院は、初診・再診ともに【予約優先制】です。
ご予約のない患者様も受診可能ですが、待ち時間が発生する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
ご予約は、Webまたはお電話にて承っております。

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:30	●	●	●		●	●	
午後	14:00~16:00	★	★			★	★	
午後	16:30~19:00	●	●	●		○		

○ 金曜午後…15:30~18:00　★ 予約検査・診察

64 堀江にのみや内科クリニック HorieNinomiya Clinic

一般内科　呼吸器内科



二宮（にのみや） 隆介（りゅうすけ）先生

標榜科 一般内科、呼吸器内科

大阪市西区に位置する「堀江にのみや内科クリニック」は、内科・呼吸器内科・アレルギー科を中心に、患者様とそのご家族に寄り添う温かな診療を実践されています。地域の基幹病院で豊富な経験を積んだ二宮院長をはじめ、複数の呼吸器内科専門医による「チーム医療」体制が大きな強みです。
「長引く咳」や「息切れ」といった呼吸器のトラブルに対し、専門的な知見から丁寧な診断と最適な治療を提案。睡眠時無呼吸症候群や禁煙外来、肺がんCT検査などの予防医療にも注力し、地域の健康維持を多角的にサポートされています。また、オンライン診療や英語対応、土曜・祝日診療など、多様なニーズに応える利便性の高い体制も整っています。
地域の高度医療機関とも連携を構築されており、専門検査や入院が必要な際もスムーズな橋渡しが可能です。西大橋駅・四ツ橋駅から徒歩圏内で駐車場も完備。呼吸器のトラブルはもちろん、身近な健康の相談窓口として、地域の皆様から厚い信頼を寄せられているクリニックです。


外　観


診察室

〒550-0015
大阪府大阪市西区南堀江2丁目1-5
ホームページ：https://www.h-ninomiya-clinic.com
電話：06-6532-2038　休診日：木曜・日曜
アクセス：
・地下鉄長堀鶴見緑地線「西大橋駅」3番出口より徒歩5分
・地下鉄四つ橋線「四ツ橋駅」6番出口より徒歩8分
・地下鉄千日前線「西長堀駅」6番出口より徒歩10分
・地下鉄千日前線「桜川駅」5番出口より徒歩10分



		月	火	水	木	金	土	日	祝
午前	9:00~12:30	●	●	●		●	●		●
午後	15:00~18:30	●	●	●		●	●		●

予告！ 2026年4月より、「医療費あと払いサービス 待たずにラク～だ® 」を開始します！



このサービスは、事前にスマートフォンやパソコンから、メールアドレスやクレジットカード情報をご登録いただくことにより、診察終了後に、会計計算を長時間お待ちいただくことなく帰宅していただけるサービスです。
当日のお会計につきましては、ご登録されたクレジットカードから後日決済されます。

日本生命病院の健康講座

日本生命病院では地域に根ざした開かれた病院を目指し、市民の皆さんへの健康情報の提供および病院の広報活動の一環として、健康講座を開催しています。

よくわかる健康講座

「腎臓（じんぞう）をまもろう」
2026年3月13日（金）14:00～15:00

知っていますか？ 慢性腎臓病（CKD）とは
■ 講師：**宇津 貴** 副院長 兼 腎臓内科部長

腎臓って何しているところ？
■ 講師：**西垣内 俊也** 腎臓内科副医長

あなたの腎臓はどうすれば守れるの？
■ 講師：**光本 憲祐** 腎臓内科副部長

がん患者さん・ご家族のためのイベント

ニッセイ サロン あったか茶論 のご案内

「治療のこと何でも情報交換会」
2026年3月18日（水）14:00～15:00
治療、検査、副作用、再発の不安、日常生活で気になることを共有して、少しでも気持ちを軽くしませんか？

「ヨガですっきり！」
2026年4月15日（水）14:00～15:00
椅子に座ってできるヨガです。

「カバーメイク体験」
2026年5月20日（水）14:00～15:00
治療に伴う色素沈着や手術跡などをカバーするメイクの仕方を学べます。※今回はがん患者さん以外でも参加可能です。

外来診療・受付時間

（再診の方は、必ず再来受付機に診察券を投入してください）
※診療科によっては、完全予約制や休診の日もあります。詳しくは各診療科におたずねください。

平日（月曜日～金曜日）			
		午前	午後
受付時間	初診	8:30～11:30	
	再診	7:45～11:30	12:00～15:30
診療時間		8:45～	13:30～

※初診の場合は、紹介状をお持ちください。紹介状がない場合は、保険外併用療養費（選定療養費）7,700円がかかります。

休診日 土曜日、日・祝日、年末年始

当院では病院敷地内全面禁煙となっています。
ご来院の皆様には、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

交通アクセス

●電車でお越しの方…
大阪メトロ「阿波座駅」下車 ⑦⑧⑩番出口より徒歩約５分（エレベーターは③④⑤番出口）

●バスでお越しの方…
大阪シティバス88系統・90系統「川口一丁目」下車徒歩４分、55系統「岡崎橋」下車徒歩8分

●お車でお越しの方…
本町通り沿い、北側正面より地下駐車場へ
※病院周辺の道路は終日駐車禁止です。



公益財団法人 日本生命済生会
日本生命病院
〒550-0006
大阪市西区江之子島2丁目1番54号
TEL (06) 644-33-446（代）
●地域医療支援病院 ●大阪府がん診療拠点病院 ●（公財）日本医療機能評価機構認定病院

ニッセイ予防医学センター
◆人間ドック
◆各種健診
※月～土曜日（完全予約制）
（社）日本病院会 人間ドック学会 人間ドック・健診施設機能評価 認定施設
TEL 06-644-33-419（代）

日本生命病院あったかサポート通信
Saisei Rimin
2026年2月発行 No.33
発行元：地域医療総合窓口あったかサポートセンター